

上尾市立大谷中学校 学力向上プラン「グランドデザイン」

学校教育目標

明るく、夢を持ち、たくましく生きる生徒

【目指す生徒】

自ら考え、自ら学ぶ生徒 心豊かに実践する生徒 たくましい生徒

学校課題研究主題

「道徳教育を通じた、相互に理解し信頼し合える生徒の育成」
～問題解決的な学習と体験的な学習を通じて真・心(しん)の対話を目指す～

学力・学習状況調査の結果

R6 全国学力・学習状況調査	R6 埼玉県学力・学習状況調査	R5 上尾市立小・中学校学力調査
<ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学ともに全国及び県平均正答率を上回っている。国語では+3%、数学では+6%全国の平均正答率を上回っている。 ・国語・数学においては、どの問題についても全国平均より無回答率が低い傾向であった。 ・質問紙において、国語・数学・理科の学習が好きと答えた生徒の割合が低い傾向である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学力階層では、1学年は上昇傾向、2学年・3学年では上位層での学力の伸びの鈍化が見られた。 ・国語・数学・英語の正答率は、ほぼ県平均と同等であった。 ・非認知能力の自己効力感や学習方略のプランニング能力・努力調整方略の項目の数値が埼玉県と比較して低い。全体的に低下傾向にある。 	<ul style="list-style-type: none"> ・国語・数学・英語は、自治体平均正答率より下回っていた。 ・国語では、「文章を書くこと」に課題がある。 ・数学では、「数と式」や「図形」に課題がある。 ・英語では、「英作文」や「内容理解」について課題がある。

本校で身に付けさせる学力

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
教科内の各分野における基本的な用語とその意味の理解及び基本的な処理(計算等)能力を育成する。	聞く・読む・書くの必要な資質・能力を基に、課題を解決する手段を自ら考えとともに、他に伝える力を育成する。	本時の学習を振り返り、「できるようになったこと」や「わかったこと」などの成果をまとめる力を育成する。

学力向上のための授業改善

知識及び技能の習得	思考力・判断力・表現力等の育成	学びに向かう力・人間性等の涵養
授業の開始時に、本時の「課題」を提示する。また、基礎学力の定着を図るため、漢字や計算など、本時の授業内容と関連させた問題を適宜取り入れ、知識・技能の習得を図る。また、積極的にICTを活用した協働的な学習を取り入れる。	思考力・判断力・表現力等を高める指導のため、知識・技能の活用を意図した言語活動を授業の中で設定する。学習課題に対し、自らの体験や経験を基盤として習得した知識・技能と、他者からの情報とを合わせて活用しながら考え、それを解決するために表現する力を育成する。	授業開始時の学習の「課題」に対し、終末部分で「ふりかえりカード」や「何が分かったか」を振り返る時間を設ける。生徒の振り返りに対して、適切なコメントをするなどして評価する。

本校の特色ある取組

個別最適な学びと協働的な学び

- ①褒める教育の推進
- ②道徳教育の推進
- ③新聞まどめの取組
- ④大谷中授業前三原則
- ⑤自問清掃
- ⑥ICT推進

家庭教育との連携

- ①進路講演会、ふれあい講演会等の実施
- ②每学期1回の全校授業参観の実施
- ③三者面談の実施